

参議院契約監視委員会定例会議議事概要

開催日	平成25年2月27日(水)		
場所	参議院第二別館東棟4階 東401会議室		
出席委員氏名	委員長	筆谷 勇(公認会計士・東京都監査委員)	
	委員	木下 哲(公認会計士)	
審査対象期間	平成24年9月1日～平成24年12月31日		
抽出委員の選出	木下委員を抽出委員に指定		
抽出案件	4件		
一般競争入札	4件	契約件名	参議院庁舎で使用する電気の需給
		契約相手方	株式会社エネット
		契約金額	130,490,283円
		契約締結日	平成24年12月21日
	4件	契約件名	調査室ホームページ作成システムの機器一式賃貸借業務
		契約相手方	昭和リース株式会社
		契約金額	15,054,984円
		契約締結日	平成24年12月18日
	4件	契約件名	調査室ホームページ作成システムの更新・移行業務及び保守業務
		契約相手方	富士ソフト株式会社
		契約金額	28,770,000円
		契約締結日	平成24年9月25日
4件	契約件名	本館変電室静止形電源設備増設その他工事	
	契約相手方	三菱電機ビルテクノサービス(株)東京支社	
	契約金額	67,620,000円	
	契約締結日	平成24年10月31日	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		
その他審議	変更契約(第2回) 平成23年度に変更契約を行った事案[工事]について		

意見・質問	回答
<p>1. 報告事項</p> <p>入札及び契約手続きの運用状況について 意見なし</p> <p>指名停止の運用状況について 意見なし</p> <p>談合状況への対応状況について 該当なし</p> <p>2. 抽出事案の審議</p> <p>A 参議院庁舎で使用する電気の需給 一般競争入札（最低価格落札方式） [購入]</p> <p>① 本件は、競争参加資格が法定されているが、どのように確認しているのか。</p> <p>② 一者応札・一者応募の要因は何か。</p> <p>B (1)調査室ホームページ作成システムの 機器一式賃貸借業務 一般競争入札（最低価格落札方式） [賃借]</p> <p>(2)調査室ホームページ作成システムの 更新・移行業務及び保守業務 一般競争入札（最低価格落札方式） [役務]</p>	<p>業者から、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギーの活用状況、新エネルギーの導入状況及びグリーン電力証書の譲渡予定量等に関し、入札適合条件を満たしていることを証明する適合証明書の提出を受けて確認している。</p> <p>業者への聴き取りでは、供給できる電力に余剰が無かったため入札に参加できないとのことであった。東日本大震災以降、電力業界全体で電力供給量が不足している中、ある程度の規模の会社でなければ入札参加は困難であると考えられる。</p>

<p>① 機器の一部について出荷証明書の提出を求めている理由は何か。</p> <p>② 一者応札・一者応募の要因は何か。</p> <p>C 本館変電室静止形電源設備増設その他工事 一般競争入札（総合評価落札方式） [工事]</p> <p>① 本件が低入札価格調査の対象となった要因は何か。</p> <p>② 本件は、入札が不調となった別案件の調達を含んだ内容となっているが、その経緯と内容はどのようなものか。</p>	<p>落札業者が履行期限までに機器の納入ができず、本院業務に支障が出ることはないように、メーカーが責任をもって落札業者に機器を供給することを確約する旨の証明を求めるものである。全ての機器について提出を求めるのではなく、本件ではメインのサーバ機器2台についてのみ出荷証明書を求めており、相手方の過剰な負担にならないように配慮している。</p> <p>入札説明会には10者以上の参加があったが、本件は既存システムの更新・移行役務であることから、システムを構築した業者に有利であった可能性はあり、調達規模もそれほど大きくなかったため、他業者にとって価格面で競争しにくい状況にあったものと考えられる。</p> <p>資材調達のコスト減が全体的な経費の圧縮につながったものと考えられる。</p> <p>老朽化した照明器具を高効率ランプという高周波点灯管に変更するための調達を実施したが、入札金額が予定価格を大幅に上回ったため不調に終わった。その後、メーカーで高効率のLEDの照明が発売されたことから、仕様を高周波点灯管からLEDに変更して本件で併せて調達したものである。結果的に、全体的な経費は圧縮できたものと考えている。</p>
<p>3. 変更契約について（第2回）</p>	<p>事務局から変更契約について説明を聴取した。</p>